

## フレキシソ・樹脂凸版印刷向けCTPと新網点を発売 ～ラインアップのさらなる充実を図り、市場のニーズを網羅～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)は、フレキシソおよび樹脂凸版印刷向けに、サーマルCTP装置「PlateRite FX1524(プレートライトエフエックス1524)」と新網点「Stabydot(ステイビドット)」を開発。国内をはじめ世界市場に向けて、2008年10月から販売を開始します。

近年のフレキシソおよび樹脂凸版印刷における製版設備のデジタル化とCTP導入の流れは、印刷品質の向上や工程の短縮を実現し、同業界に革新をもたらしました。そして、2006年秋に当社が発売した「PlateRite FX870」の登場をきっかけに、国内市場に樹脂凸版印刷向けCTPが普及し始めました。

今回発売する「PlateRite FX1524」は、シール・ラベルなどパッケージ印刷向けの「PlateRite FX870」を発展させ、ラベル、軟包装、カートン、ダンボールをはじめとするすべてのフレキシソ印刷用途に幅広く対応するものです。新開発の高出力露光ヘッドを搭載しているほか、最大版サイズ1,067mm×1,524mm(42inch×60inch)に対応。大サイズのフレキシソ版の確実な装着を実現するローディング機構を装備し、基本仕様の充実とコストパフォーマンスの追求により、フレキシソ版では1時間当たり4m<sup>2</sup>※、樹脂凸版では1時間当たり6m<sup>2</sup>※の生産性と高品質な描画を提供します。

また、フレキシソおよび樹脂凸版印刷向けに特化した新網点「Stabydot」は、最小網点サイズを従来の1dotから複数個のdotで構成。さらに、ベースの網点形状に補強パターンを付け、ハイライト部のレリーフ形成を安定化しました。製版環境、印刷環境(インク、基材)に応じて、最小網点形状をハイライトの印刷に最適な3種類から選択することで、より階調豊かな印刷を実現します。

当社は、今回発売する「PlateRite FX1524」と「Stabydot」をフレキシソおよび樹脂凸版関連製品のラインアップに加えることにより、世界市場の幅広いニーズを網羅し、市場のさらなる拡大を図ります。そして、フレキシソおよび樹脂凸版印刷・製版業界のリーディングカンパニーを目指し、今後ますます多様化するユーザーニーズに応えていきます。

※ 生産性は版材により異なります。

\* 「PlateRite FX1524」と「Stabydot」は、10月26日から29日までアメリカ・シカゴで開催される印刷機材展「GRAPH EXPO 2008」に出展します。また国内では、10月15日、16日に東京・有明のTFTビルで開催される「フレキシソ・ジャパン 2008」のフォーラムでご紹介します。



## PlateRite FX1524

☆ この画像の印刷用データ (解像度 300dpi) は、下記 URL よりダウンロードできます。  
([www.screen.co.jp/press/nr-photo/](http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/))